

地域向け広報誌
2020.初夏

第53号

国民健康保険
小松市民病院

ヴェーダ

V E D A (ヴェーダとは
サンスクリット語で
“癒し”を意味します。)

地域の皆さん向けの広報誌

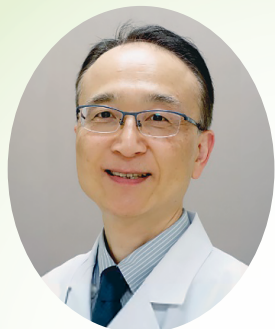
基本理念

共に歩む



基本方針

- 患者さんの人権と権利、そして思いを尊重します
- 安全で安心な急性期医療、がん医療、予防医療を推進します
- 救急医療の充実に努めます
- 地域の医療・介護・保健機関とつながる医療を行います
- 職員の働きがいのある職場をめざします



「共に歩んでまいりましょう！」

国民健康保険 小松市民病院

病院長 ^に ^っ ^た ^ひ ^さ ^し
新 多 寿

令和2年4月1日から病院長を拝命いたしました。病院長就任にあたり、ごあいさつ申し上げます。当院の病院の基本理念は「共に歩む」です。「共に」というのは相手方(対象者)がいるということであり、私がかんがえている相手の方とは、患者さん、かかりつけ医、地域住民の皆様方、そして当院の全職員です。患者さんの思いに共感し、かかりつけ医と共働して治療にあたり、地域の方々と一緒に共生してゆく。これが私たちの理念です。

「共に」という言葉を私はこのように解釈しています。医療行為は単に医療者がサービスを提供し、患者・家族がサービスを需要するという、市場の取引のような枠組みで施されるものではありません。患者さんと医療者が共同体を作って、痛み悲しみを分かち合うことが医療行為です。つまり、健康を取り戻すという共通目標に向かって共同体を作って行動してゆくことが医療行為の本質です。患者さんに始まり、患者さんと共にあり、そして患者さんと共に終わるのです。「共に歩む」という理念を常に持ち、職員全員がそれぞれの職務を遂行して、地域全体の健康に貢献する所存です。

本年度より当院が「地域医療支援病院」という特別な病院として承認され、さらに「小松市民病院訪問看護ステーション」を開設しました。これによって当院は南加賀の中核病院としてさらに多くの役割・使命を持つようになりました。地域医療支援病院は文字通り、地域の医療を支援する病院という意味ですが、その使命には4つあります。それは、① 紹介患者さんに対する医療提供、② 救急医療の推進、③ 地域の医療従事者の方々への研修等の実施、④ かかりつけ医の方々に当院の医療機器や設備を共同利用していただくこと、の4つです。今後はさらに紹介患者さんの医療の充実、救急を断らず、地域へ専門職が出向いて講座や講演をさせていただくなど、強力に推し進めます。また在宅療養の患者さんで、主に専門的な医療ケアを要する方が利用できる訪問看護サービスなど、これらを通じてさらに地域での医療連携強化を図って行きます。

私たちは南加賀地域のすべての皆様方に信頼される病院をめざし、努力を続けます。皆様方からのご意見、ご希望を是非お寄せください。

新任医師紹介



循環器内科

つね やま はるか
常山 悠 先生

- ① 循環器内科一般
- ② 認定内科医
- ③ 読書・映画鑑賞
- ④ 一生懸命がんばります。

循環器内科

ひろ まさ さとる
廣正 暁 先生

- ① 循環器内科
- ② 日本内科学会 認定内科医
- ③ バスケットボール
- ④ 地域の皆様が安心できるような医療を提供できるように頑張ります。



消化器内科

やま と まさとし
大和 雅敏 先生

- ① 消化器疾患
- ② 認定内科医
消化器病専門医
肝病専門医
- ④ 安心して受診頂けるよう心がけます。

内分泌代謝内科

よし くら しょうへい
吉倉 昌平 先生

- ① 内分泌疾患・糖尿病
- ③ ボードゲーム
- ④ 地域の糖尿病治療をがんばります。

腎臓内科

ほり た しげ と
堀田 成人 先生

- ① 腎・透析・膠原病・リウマチ
- ② 認定内科医
- ③ 高校野球観戦
- ④ 頑張ります。よろしくお願ひします。

精神科

とう ごう たいへい
東郷 泰平 先生

- ① 精神科
- ② 精神保健指定医
- ③ 言語学
- ④ 「踏み迷える人々の道ではなく 恵みをくださった人々の道に」



整形外科

なか にし ひろゆき
中西 宏之 先生

- ① 整形外科一般・肩関節外科
- ② 日本整形外科学会
整形外科専門医
- ③ スキー・ゴルフ・読書
- ④ 腕を挙げたときに肩が痛むなど肩の痛みでお困りのことがあれば、お気軽にご相談頂ければと思います。





- ① 専門分野・得意分野
- ② 資格(認定・指導医・専門医)
- ③ 趣味・その他
- ④ 抱負、モットーなど

形成外科

とりい ゆき
鳥居 祐希 先生

- ① 形成外科一般
- ③ 音楽鑑賞
- ④ 芦城小、芦城中出身です。地域のみなさまのお役に立てるよう精進してまいりますのでよろしくをお願いします。



脳神経外科

なか ほう みつたか
中原 光尊 先生

- ① 脳神経外科
- ③ 映画鑑賞
- ④ 他科と連携しつつ、脳卒中急性期の対応にあたりたいと思います。



皮膚科

なか お まさはる
中尾 将治 先生

- ① 皮膚科一般
- ② 皮膚科専門医
- ③ 読書
- ④ 丁寧な診療を心がけます。

泌尿器科

ふくかわ こう たろう
福川 孝太郎 先生

- ① 泌尿器科一般
- ② がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修修了
- ③ 動画鑑賞・ゴルフ
- ④ 4月より赴任しました。泌尿器科医としては駆け出しですが、地域に貢献できればと思います。何でもお気軽にご相談ください。よろしくをお願いします。

産婦人科

なか で きょうへい
中出 恭平 先生

- ① 産婦人科一般
- ② 日本産婦人科学会専門医
- ③ 野球・カラオケ
- ④ 分かりやすく説明し、患者さんと一緒に治療方針を決定するよう心がけます。

放射線科

かやはし まさのり
茅橋 正憲 先生

- ① 画像診断
- ② 日本医学放射線学会 放射線診断専門医 指導医
- ③ 音楽・スポーツ観戦
- ④ 患者さんのお役に立てるよう、日々精進して参ります。



麻酔科

しょうだ よしみ
庄田 佳未 先生

- ① 麻酔科全般
- ② 日本麻酔科学会 麻酔科専門医
- ③ スポーツ観戦
- ④ 安心して手術に臨んでいただけるように安全な麻酔管理をこころがけます。





メディカルレポート

感染制御室

感染制御室長

金田 朋也



令和2年4月1日から小松市民病院の感染制御室長に着任しました。感染制御室は、患者さんや医療従事者が、病院内で細菌やウイルスなどの病原体による感染症にかからないように対策を立て評価活動を行うところです。感染症対策の鉄則は予防です。感染制御室のスタッフは医師、感染管理認定看護師、臨床検査技師、薬剤師、栄養士、理学療法士など多職種で構成され、各職種の視点から必要な予防対策を行っています。具体的には、外来や病棟を定期的にラウンドし、医療従事者の手洗いや消毒などの手指衛生、マスクやガウン、手袋など

個人防護具の使用の状況、療養環境、診療環境、物品の管理状況などを確認し、日常の感染対策の遵守状況を把握し改善に努めています。また病院内の感染症の発生状況を調べて監視しています。検査で培養された検出菌を確認し、新たな感染症の発生や拡散がないか、抗菌薬が効きにくい耐性菌が発生していないか、などを確認します。特に耐性菌は世界中の医療現場で深刻な問題となっています。抗菌薬の乱用により耐性菌が発生します。耐性菌の増加により治療が困難となり、助かる命が助からなくなります。適正な抗菌薬を適正な期間で使用しているか確認し、必要なときは指導や介入を行います。また院内感染対策に関する研修会を定期的に行い、職員の意識の向上に努め、また近隣の医療機関と合同カンファレンスを定期的を開催し、感染の状況や感染対策の事例に関する情報交換を行い、質の向上に努めています。また近隣の診療所や高齢者施設などへスタッフが出張して感染予防対策の指導を行う、市民公開講座を行うなど、地域の感染予防の教育啓発にも努めています。

さて4月20日現在新型コロナウイルス感染症が世界的に猛威を振るい、人類の生命を大きく脅かしています。日本では緊急事態宣言が全国に拡大され、石川県は感染者が増加していることから特定警戒県に指定され、重点的な感染拡大防止が必要になりました。その結果、社会活動の自粛を余儀なくされ、皆様におかれましては大変なご不安とご苦勞がおありのことと思います。小松市民病院は南加賀唯一の感染症指定医療機関であり、新型コロナウイルス感染症患者さんの診療を行う機関に指定されています。感染症対策の鉄則は予防ですが、残念ながらワクチンの完成にはまだ時間がかかる見込みです。そのため新型コロナウイルス感染症に罹患しないためには、手洗いをこまめに行う、人との近い接触をさける、マスクをする、といった個人レベルの日常の地道な努力が重要になります。大変なことではありますが、一人ひとりが確実に実行して感染予防に努めていただくことにより、感染が収束することが期待できます。最後に感染制御室が中心となり病院全体で院内感染防止に努めることで、地域の医療を守れるように微力ではございますが尽力してまいります。



感染制御室看護師 米多弘子

新型コロナウイルス感染症予防と、 当院で実践している感染予防策の一例を紹介します。

新型コロナウイルス感染症の主な感染経路は、インフルエンザ等同様、飛沫感染(咳やくしゃみで出たしぶきを浴びる・吸い込むことで、鼻・目・のどの粘膜からウイルスが侵入する)と、接触感染(しぶきで汚染した手、環境、物を介してウイルスが目・鼻・口(のど)の粘膜から侵入する)です。通常はインフルエンザと同様な感染予防が大切だと考えられます。しかし、潜伏期間(ウイルスが体内に侵入してから症状が出るまでの期間)が長く、症状が出ていない時期にも他人にうつしてしまうことがあるため注意が必要です。また、これとって特徴的な症状がないこと、容易に検査ができないことが発見の遅れに繋がっていると考えられます。

当院の感染予防策の一部をご紹介します。

新型コロナウイルス感染症の主な感染経路は、インフルエンザ等同様、咳やくしゃみで出たしぶきを浴びる・吸い込むことで、鼻・目・のどの粘膜からウイルスが侵入する飛沫感染と、しぶきで汚染した手、環境、物を介してウイルスが目・鼻・口(のど)の粘膜から侵入する接触感染です。通常は、国では1m以内の距離で、適切な防護なしで15分以上接触した人たちを、濃厚接触者として最も感染しやすい状況としています。(「積極的疫学調査実施要領」より)

- 1 すべての患者さん・職員が濃厚接触にならないよう、全職員常時マスク・アイシールドを着用し、手指消毒薬を携帯しています。医療現場は医療・看護を提供するため人と人の距離が近く、1mの距離を保てません。適切な防護



- 2 3密を避ける(密集、密閉、密接)
- 人と人の間隔を開けるようにしています。
 - 待合室の椅子は人数を制限しています。
 - 多くの患者さんが集中しないよう、予約の30分以上前に来院しないよう呼びかけています。
 - 病室も定期的に換気を行っています。
 - 研修室は間仕切りを取りました。
 - 会議中は窓を開けています。
 - 食事の時は同じ向きで、座る間隔を開けています。

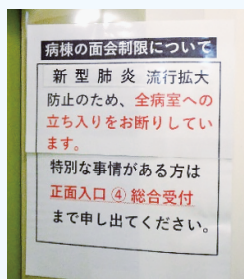


- 3 飛沫予防策
- 各窓口にアクリル板を設置しています。



- 4 接触予防策
- 各出入口に手指消毒薬を設置しています。
 - 外来や病棟の環境清掃の頻度を増やして実施しています。

- 5 院内へのウイルス持ち込み対策として、職員は出勤前に毎日体温を測っています。外来でも全患者さんに体温を測らせていただき、発熱がみられた場合には別室で対応しています。



病棟では全入院患者さんへの面会を制限し、外出外泊も禁止とさせていただいています。患者さんにはご不便をおかけしていますが、ご理解、ご協力をいただき大変感謝いたします。



訪問看護ステーション

令和2年4月1日、小松市民病院訪問看護ステーションがオープンしました。
近年少子高齢化により、国においては住み慣れた地域で安心して療養生活を送ることができるよう、在宅医療、地域包括ケアシステムの構築が進んでいます。当院も地域の中核病院として、急性期医療での治療が終わり、患者さんが安心して地域で暮らし続けられるよう訪問看護ステーションを開設することとなりました。

当院の訪問看護ステーションの特徴は

1. 急性期医療での治療を終えた直後の医療ケア度の高い患者さんに、訪問看護ステーションスタッフのみならず、小松市民病院の医療スタッフと共に行う訪問看護サービス
2. 認知症や精神疾患をお持ちの方の訪問看護サービス
3. その他、介護・終末期医療など、地域の皆様方と協力して行う幅広い訪問看護サービス



訪問看護ステーション師長 **北 由希**

「訪問看護はどんなことをするの?」

ご家族の相談と支援



介護方法を助言したり、介護職などと連携することでご家族の介護を支援します。

病状の観察や健康状態の管理と看護



体温、脈拍、血圧、呼吸の状態などを測定し、心身の健康状態などを観察し状態に応じた対応をします。

療養生活の支援・相談



食事や運動、口腔ケア、排泄のケアなどを行い、健康状態の維持、改善を図るとともに生活リズムを整えます。

医療処置・治療上の看護

主治医の指示に基づく医療処置(在宅酸素療法、人工呼吸器、経管栄養、点滴静脈注射、創傷処置など)を行います。



リハビリテーション看護



運動機能、呼吸機能や摂食、嚥下機能の回復・維持・低下予防などについて助言や指導を行います。

緩和ケア・終末期ケア

最期までその人らしい尊厳のある療養生活を送ることができるよう、本人や家族に寄り添って援助します。



私たちの「できます」

① 医療ケア度の高い人の看護ができます。

理学療法士、作業療法士、言語療法士、精神保健福祉士、社会福祉士、薬剤師、臨床工学技士、管理栄養士、特定行為看護師、認定看護師、助産師、保健師、放射線技師、臨床検査技士、歯科衛生士などが同行して支援することもあります。

② 認知症と精神障がい者の看護ができます。

症状を観察し、服薬の確認や生活リズムの調整、必要なサービスの活用、周囲とのコミュニケーションがスムーズにいくよう支援します。

住み慣れた地域で安心して生活していただけるように訪問看護師、作業療法士が全力でサポートいたします。ご利用についてのお問い合わせは下記の電話番号に直接お掛け頂ければ、ご相談承りますのでお気軽に。またはかかりつけの主治医、看護師や担当ケアマネジャーにご相談ください。

小松市民病院 訪問看護ステーション

☎0761-23-7171 (直通)

営業時間：午前8時30分～午後5時15分

休 日：土・日・祝、12月29日～1月3日

緊急の場合は、営業時間外及び休日にも対応致します。

小松市民病院『曜日別外来担当医表』 令和2年6月1日現在

神経内科・血液内科・精神科は、**完全予約制**です。事前にご連絡願います。

診療科		月	火	水	木	金
内科	初診	東方	窪田	初診医師	高田	金田
	消化器	三輪	伊藤		又野	大和
		大和	又野		三輪	伊藤
	呼吸器	木場	米田	木場	米田	上田
			上田	(掛下)		
	循環器	高田	金田	東方	廣正	東方(予約紹介のみ)
			廣正	常山		常山
	腎臓	鈴木	堀田	鈴木	鈴木	堀田
	内分泌・糖尿病(初診)	吉倉		吉倉	吉倉	窪田
	内分泌・糖尿病(再診)	窪田	吉倉	窪田	窪田	吉倉
神経内科	多田			浜口		
血液内科	材木		辻		高橋	
心臓血管外来				金大心臓血管(午後)		
健診センター		井上	東方	井上	井上	井上
内視鏡室		又野/伊藤	三輪/大和	三輪/伊藤/大和	伊藤/大和	三輪/又野
禁煙外来			東方(午前)			
外科		西野	竹本	竹本	西野	
		望月	塚山	田中	田中	望月
		佐藤	塚山	佐藤	塚山	佐藤
緩和ケア外来			北川(午前)		北川(午前)	
産婦人科		田守	中出	岡	田守	中出
		中出	岡	中出	岡	岡
脳神経外科		廣田(新多) ^{※1}	新多	廣田	新多	中原
整形外科		畑	渡邊	交代制 ^{※2}	畑	畑
		渡邊	中西		渡邊	中西
耳鼻咽喉科		西郡	西郡	西郡	西郡	西郡
		中島	中島	中島	中島	中島
睡眠時無呼吸外来				西郡・中島(午前予約)		
形成外科	初診	門平	鳥居	門平	鳥居	門平
	再診 ^{※3}	鳥居	門平	鳥居	門平	鳥居
眼科		前田/大学Dr	前田	前田	前田	前田
小児科	初診	金田	大月 ^幸	大月 ^哲	木場	大月 ^幸
	再診	大月 ^哲	木場	金田	大月 ^哲	木場
精神科	初診		東郷			佐野
	再診	東郷・竹崎	橋本	宮岸	東郷・竹崎	東郷
泌尿器科	初診・再診	北川	加藤	北川/福川	北川	加藤
	再診	加藤	北川	加藤	加藤/福川	北川
皮膚科		中尾	中尾	中尾	中尾	中尾
麻酔科		西村	西村	手術	庄田	庄田
歯科・口腔外科	初診	田中	松本	田中	松本	田中
	再診	松本	田中	松本	田中	松本
放射線科	胃・注腸透視・読影	赤倉	赤倉	茅橋	茅橋/小林	茅橋
	超音波	茅橋	茅橋	赤倉	赤倉	赤倉
	核医学	瀧			齊藤	
	放射線治療	柴田(午後)				石山

※1 脳神経外科の月曜日は、その日の予定で担当医が変更となります。 ※2 整形外科の水曜日は、手術日のため担当医が変更となります。
 ※3 形成外科は、AM10:30~11:30に病棟回診があります。

編・集・後・記

1日でも早く新型コロナウイルス感染症の流行が収束することを願うばかりです。安心して過ごせる日常生活に早く戻れるよう手洗い、マスク着用など日常生活でできることを行い感染予防に努めていきましょう。
 (白崎)



国民健康保険 小松市民病院



〒923-8560 石川県小松市向本折町ホ60番地
 TEL(0761)22-7111(代) FAX(0761)21-7155
 URL <http://www.hosp.komatsu.ishikawa.jp/>
 E-mail cbsomu@city.komatsu.ishikawa.jp